

出願にあたっては、今後発表する募集要項や本学ホームページにより最新の情報を確認してください。

山口大学ホームページ（入試関連情報）

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/index.html>

受験生の方へ — 令和7年度（令和6年度実施）入学者選抜方法の変更ポイント —

農学部においては、次の入試変更を行うことにより、多様な知識・経験を有する志願者の確保を一層図るとともに、これまで以上に受験しやすい環境を整えます。

1. **生物資源環境科学科** 及び **生物機能科学科** における共通の変更内容について

（1）学校推薦型選抜Ⅰ

1) 面接の採点・評価基準を次のとおり変更します。

〔変更前〕 個人面接とし、面接委員数名が、志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに、志望学科への適性をみます。

〔変更後〕 個人面接とし、面接委員数名が、志望動機、勉学意欲、意欲的に取り組んだ活動、質問に対する理解力及び表現力等を評価・採点するとともに、志望学科への適性をみます。

2) 出願書類「志望理由書」の様式に、新たな項目として、「大学入学後に取り組みたいこと」及び「アピールする活動」を追加します。

（2）一般選抜（前期日程）

1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について、主に次のとおり変更します。

① 教科「理科」において、新たに、科目「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」を利用できるようにします。

② 教科「情報」（科目：情報Ⅰ）を新たに加え、大学入学共通テストの利用教科・科目数を「5教科7科目」から「6教科7科目又は6教科8科目」に変更します。

2) 出願時に選択できる個別学力検査の受験可能教科科目数を変更します。

令和7年度入試から、受験を要する教科科目数の指定が1教科1科目の場合であっても、「数学」または「理科」の教科科目のうちから、**出願時に、「1教科1科目または2教科2科目」を選択して受験する**ことができるようにします。また、2教科2科目を受験した場合は、高得点の教科科目の成績を利用します。

3) 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等を**別紙1**のとおり変更します。

4) 一般選抜の個別学力検査における出題範囲は次の入試課ホームページを確認してください。(https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/nyushihenkou/index.html)

※農学部は、個別学力検査の出題教科「数学」について、「数学科Ⅲ」を出題科目としていません。

(3) 一般選抜（後期日程）

1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について、主に次のとおり変更します。

(ア) 教科「理科」において、新たに、**科目「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」**を利用できるようにします。

(イ) **教科「情報」（科目：情報Ⅰ）**を新たに加え、大学入学共通テストの利用教科・科目数を「5教科7科目」から「6教科7科目又は6教科8科目」に変更します。

2) 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等を**別紙1**のとおり変更します。

2. 生物資源環境科学科 のみの変更内容について

(1) 募集人員の変更

次のとおり、「学校推薦型選抜Ⅰ」及び「一般選抜」の募集人員を変更します。

(変更前)

生物資源環境科学科	募集人員			
	学校推薦型選抜Ⅰ		一般選抜	
	農業に関する 学科等対象	全学科対象	前期日程	後期日程
	2	8	33	7



(変更後)

生物資源環境科学科	募集人員			
	学校推薦型選抜Ⅰ		一般選抜	
	農業に関する 学科等対象	全学科対象	前期日程	後期日程
	<u>4</u>	<u>10</u>	<u>30</u>	<u>6</u>

(2) 学校推薦型選抜Ⅰ

「農業に関する学科等を対象とした募集区分」における1高等学校あたりの推薦可能人数（高等学校長が推薦できる者）を「1高等学校につき1名」から「1高等学校につき2名」に変更します。なお、推薦人数について、分校は本校とは別に1校として取り扱います。

(3) 一般選抜（前期日程）

新たに、パターン制を導入し、大学入学共通テストの利用教科「理科」において、次の3通りのパターンから受験ができるようにします。なお、パターンの選択・申告は出願時に行います。また、パターンごとに大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点や受験を要する教科・科目数が異なります。各パターンの配点や受験を要する教科・科目数等の詳細は別紙1をご確認ください。

パターン①

「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目の受験が必要です。

※パターン①において、個別学力検査で受験を要する教科・科目数は「数学」若しくは「理科」1科目の1教科です。

パターン②

「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目の受験が必要です。

※パターン①と比べて、大学入学共通テスト利用教科「数学」及び「理科」の配点が高く、「国語」・「地理歴史・公民」の配点が低くなっています。

※パターン②において、個別学力検査で受験を要する教科・科目数は、パターン①と同じです。

パターン③

「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目の受験が必要です。

※パターン③において、個別学力検査で受験を要する教科・科目数は、「数学」及び「理科」1科目の2教科です。

※パターン①・②に比べて、個別学力検査の配点合計が高く、大学入学共通テストの配点合計が小さくなっています。

(4) 一般選抜（後期日程）

- 1) 新たに、**パターン制を導入**し、大学入学共通テストの利用教科「理科」において、次の**2通りのパターンから受験**ができるようにします。なお、パターンの選択・申告は出願時に行います。またパターンごとに大学入学共通テストの配点や受験を要する教科・科目数が異なります。各パターンの配点や受験を要する教科・科目数等の詳細は**別紙1**をご確認ください。

パターン①

「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目の受験が必要です。

パターン②

「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目の受験が必要です。

※パターン①と比べて、大学入学共通テスト利用教科「数学」及び「理科」の配点が高く、「国語」・「地理歴史・公民」の配点が低くなっています。

- 2) 個別学力検査等「面接」の実施方式を「集団面接」から「**個人面接**」に変更するとともに、次のとおり変更します。

① **別紙1**のとおり配点を変更します。

② 採点・評価基準を次のとおり変更します。

〔変更前〕 集団面接とし、面接委員数名が、志望動機、勉強意欲、質問に対する理解力、表現力等を評価・採点するとともに、志望学科への適性をみます。

〔変更後〕 個人面接とし、面接委員数名が、志望動機や意欲的に取り組んだ活動に関する質問、アドミッションポリシーに沿った質問等を通して、勉強意欲、理解力、論理的思考力、表現力等を評価・採点し、志望学科への適性をみます。

③ 出願書類に、別紙「志望理由・自己アピール書」を追加します。なお、「志望理由・自己アピール書」は、面接の参考資料とし、面接の評価に使用します。